

第8回 加東市議会報告会議事録(要約)

平成27年10月30日(金)19時30分～21時30分

滝野地域(河高交流センター)

開会 19:30

◎開会挨拶 班長(井上議員)

第1部一「平成26年度決算審議内容と公共施設適正配置計画について」

【問】 加東市の財政状況8億円の大台に突破、9年連続貯金は100億円突破。借金はどんどん減っていく一方、貯金も一人当たり30万円。基金に当たる貯金が多い。この中に財政調整基金というのは50億円とある。この財政調整基金というものは、どういうものか。

【答】 財政調整基金は財政運営を行うためにいろいろな事業に遣えるという意味で理解している。

【答】 合併して交付税がだんだん下がっていくという前提で、地方はしっかり財政基盤を作っておかなければならない。サービスを低下することの無いようにに基金の積み上げをしている。

【問】 自治体の立て直しに職員の大規模な退職者を募り、その年度内に退職金の資金が用意できずに大量の起債を発行し、地方債の返還は無人(退職者)の人件費に毎年20年以上にわたって借金が支払われ考えられもしなかった副作用が出ている。

【答】 一時償還も成り立つかもしれないが、運営の中でのことでもあり議会で処理していくものではないのでご理解願いたい。

【問】 病院事業会計で、歳入19億円歳出21億円、今年も2億円の赤字と出ているが19億円の中にはもともと一般会計から補填があり、本当の赤字は2億円ではないのか。

【答】 19億円の中に補助金とか入っている。

【問】 佐賀県武雄市では1億円までは補填するが1億円以上の赤字が出るなら民間に任すと、病院だから赤字は仕方ない、黒字にするということもないが1億円の赤字はやむを得ない。しかし実態3億円というのは加東市民にとって不幸なことだと思う。その取り組みを聞かせて欲しい。

【答】 武雄市の病院のやり方を加東市民病院に応用できるかと言えば状況が違う。病院自体の在り方も大変厳しい状態にあるのは事実である。地域医療として方向性は訪問看護を在宅看護ができる形に病院の在り方を変えていき、方向転換の時期でありその辺りで負担が増えてくる部分も一時あると思う。努力を今期待しており、加東市民病院の生き方に対して考え直していかなければならない状況にあるということは、当然病院長もその中で考えられている。

【問】 統合して1本の役所で職員数も減らすという話だったが、不必要な人がまだまだいる見方をしている。

【答】 現在正規の職員数は217人で、職員の適正化ということで計画よりも30人ほど少ない。その部分をアルバイトや嘱託である程度フォローしている。

【答】 地方公務員法で職員を辞めさせていくという形が執れない状況である。募集する時に人数を徐々に減らしていく形で職員数をできるだけスリム化していく。業務運営の中の住民サービス等で残業を増やす形になるとまた人の数が違うというバランスも捉えながら職員数は最小限にとどめていく考えは変わっていない。

【問】 適正化の計画の中で、何故民営化ということをもっと進めないのか。

【答】 民営化すべきところはどんどん民営化をしていけばいいが、なかなか厳しい状況がある。

【問】 学校が統合した場合、遠いところから通っているお子さんに対して完璧なものになるのか。

【答】 教育委員会と学校対応の話をする中、一貫校をすれば東条地域でスクールバス3台、社地域でスクールバス5台必要となっている。登下校時間外での市内全体の公共交通も考えて取り組んでいきたいと説明を受けている。

【問】 加東市の人口が減ってきているのに、小元団地11億円もかけて市民に何のメリットがあるのか。

- 【答】 今住んでいる方からの要望と、古いから建て替えることは理事者から聞いている。
- 【問】 小学校の周りでも空いているアパートがいっぱいある。民営圧迫ではないか。
- 【答】 アパートに補助金を出してやっていく方法の意見も以前から出していた。
- 【問】 2,000 件も空き家があるから、何軒か市が購入して改修し貸し出すことは。
- 【答】 豊田市では空き家を改修し、補助金で若い人が入れる形をとっているが、空き家対策となると今後の一つの課題となる。
- 【問】 アンケートで 7 割の方が、家賃が上がるなら建て替えて欲しくない。市の説明ではもう建て替えで決まると、その点はどのように考えられるか。
- 【答】 その状況の細部については市当局とのやり取りで、そんな意見があると聞いているが、建て替えについてはもう決まっている。
- 【問】 50 家族の為に 11 億円よりも、TSUTAYA の図書館で改修したり、もっと成長戦略を考えなければ加東市は、どんどん人口が減っていくままではないか。
- 【答】 貴重な意見であるので、家賃等も検討し議会としても努力していくので、ご理解願いたい。

第 2 部—意見交換

テーマ「加東市のまちづくりと地域の課題について」

- 【問】 公共施設の配置について、神戸新聞で大学の教授が東条文化会館を存続するのであれば、それ相当の市民の負担もあって当然だと言われているが。
- 【答】 地元を中心とする市民の方 6,000 人以上の署名を集められ何とか存続を求められた。存続を求められている東条の市民が NPO 法人を取得して指定管理をしたいというのが 1 件、もう 1 件一般企業が指定管理の申し出をされるようである。
- 【問】 神戸のフルートコンサートの 4 年に 1 回の大会に、その市長が税金を投入する優先順位を考えたら 5,000 万円の補助は出さないと明言されている。加東市もこれぐらいの指導力があってもよいのでは。東条の方は、署名は集められたが資金は集められたか。
- 【答】 今のところは資金集めはされていないと思うが、NPO をつくってするということである。
- 【問】 温泉施設が 2 つもあるが、この温泉を行政がするのは如何なものかといわれている

るが。

【答】 とどろき荘においては、宿泊施設部分を公民館にして縮小する。3年先に民間に公募すると聞いている。

【意見】・市民病院は聖域扱いにはしてはいけないと有識者ははっきりと言っている。

- ・公営企業は独立採算の立場でやむを得ない場合に限って一般会計で負担する。それも災害など特別な時に限る。
- ・国や県の基準で一定に定めている以上の補助金が毎年出されている。補助金は病院の累積欠損ではなく地方債となって消えている。
- ・病院会計の公会計は、負債資本・借入資本という資本金勘定にしている。普通資本金は株などを売って得たお金が資本であり、返済しなくてもいいお金なのでこれが表には出ない借金となっても累積している。
- ・4億円の不明資産が発覚。減価償却をやっていれば起こらなかった。
- ・夕張市が財政破綻したとき、だれの責任かと議論されたが民主主義が保障されているもとにおいては、いかなる理由があっても一般市民が関心を持たなければならない。
- ・もっと住民の方もいろいろと行政に関心を持ってもらいたい。

【意見】・学校の統合で、ただ途中で何かあったとき親御さんは仕事で誰も来れない云々という問題が出てこようかと思う。

- ・登下校の見守りと交通安全委員をさせてもらっているが、今一人という形になっている。もっともっと見守り隊が増えるような形をつくってほしい。議員さんにも力添えを頂きたい。

【問】 当初配布の公共施設適正配置計画(案)と本日配布の公共施設の適正化に関する計画抜粋版で、東条文化会館に関してどこがどう変わっているのか。

【答】 当面はNPO等による新たな運営により施設の特性を生かした事業展開を目指す。躯体の柱がもう維持できない、全面的な改修とか新設をといるときは使用は出来なくなるが、当面の修理をして運営をしていく予定となっている。

【答】 NPO等の新たな取り組みについては一定期間経過後に評価・検証を行い、その後の運営方針について検討する。

【答】 大改修になるとそこまで資本は投入できない部分もあるので、ずっと残るという考えではない。

【意見】 コンクールで優勝された方がここを故郷として加東市に帰ってこられて演奏されるのを聴くと、その方たちの気持ちを大事にして取り壊すことはしないほうがいいと特に感じているので宜しくお願いする。

【答】 ぜひとも NPO に加入いただき、ともにしっかり運営をしていただきたい。

【要望】 私は観光ボランティアをやっているが、加東市の今の観光の拠点はバラバラである。連携と場所の問題、町の発展には必ず観光も入ってくる。統一した推進をお願いしたい。

【答】 観光協会の部分だが、一般社団法人になって独立している。その辺りをはっきりやっていけということかと思われる。意見として聞いておく。

【意見】 議会報告会でパネル、パワーポイント等ペーパーレスということで思案してほしい。

【答】 前にパワーポイントでやった時に字が小さい、見えにくいと言われた。今回もパワーポイントの話は出た。

【意見】 日経新聞に加東市内に空き家が中古を含めて 4,000 戸あると。土地もすごく荒廃した農地が散乱していると。こういうものを法人化して株式会社にし、行政などが管理して貸し出す方法を執れば、もっと住民が自治意識に目覚め地域の活性化にも繋がるのではないかと提案があった。参考まで。

【問】 加東ケーブルビジョンは民間業者への完全移行後に廃止、撤去するとなっている。合併して全部新しくしてからごくわずかでこうなる。撤去した後はどうなるのか。

【答】 市の職員が撮影し、人数の足りないときは専門の契約しているところに委託させる。今のチャンネル数の一つのチャンネルを市の専属とする。

【問】 市の職員がやるなら、今準備期間中やから録画の工夫をもっともっと勉強するべきではないか。

【答】 番組の内容については、放送審議会でも検討されている。この意見については、担当課に伝えておく。

【意見】・滝野の方は河川改修されたら安全になると言われているが、かえって危なくなる。

西脇市と同じように少しの雨でも河川の水位が上がるので排水できなくなり内水氾濫が起きる。その分が町の中に溜まるので十分滝野地域の方は話し合ったほうがよい。

- ・東条の中学校は危ないと言われるが、滝野の中学校も今でも浸水域に入っているためその辺が全然あげられないのはおかしいと思う。

【問】 滝野地域だけ学校の位置が決まっていない。4ヘクタールの土地を滝野で設けるのはなかなか難しいと思うが、議員さんはどの辺りを想定されているか。

【答】 計画では平成40年の計画で、個人的な想定は持っているが発表はできない。

【問】 オンデマンドとかいわれていたが、地域交通はどこまで進んでいるのか。

【答】 公共交通は今、米田のバスと清水のほうで自主運行でやっている。公共交通が一番大きな課題であり、町の中に住んでいてもなかなか高齢者が買い物に行けないという要望も聞いている。小中一貫校でスクールバスが必要となってきた。それを運用していく方向まで来ている。

閉会 21:05

◎閉会挨拶 司会者(桑村議員)